

レース報告書

2012年 JAF GP F4 コンストラクターズ日本一決定戦

予選 7位 決勝 1位

参加台数 19台

開催日：11月18日



レーシングドライバー武平良介

スポンサー様



レンタル、マイカート
KARTの事ならお任せ下さい



全国転戦（今期は海外2回を含む）を
するラジコンF1レースの最高峰F1
RCGPの公式タイヤサプライヤの
ZEN



ラジコン・プラモデル専門店
〔ピットイン〕



<http://www.rakuten.co.jp/webaqua/>

ウェブ・アクア(webaqua)の品揃えの中心は、「より美
しく・より健康でありたい貴女や、トップアスリートの
貴方をサポート」をコンセプトに



ORIHIRO

2012年 JAF GP F4 コストラクターズ日本一決定戦 レース報告書

開催日・・・11月18日

場所・・・富士スピードウェイ

天気・・・予選 雨、決勝 晴れ

路面コンディション・・・予選 レイン、決勝 ドライ

公式予選・・・7位

Saturday

順位・・・7位

自己ベスト・・・1分59秒103

ギャップ（1位とのタイム差）

1.937秒

レースウィークでは全車初のレインでの走行となった公式予選。ドライバーとチーム力が試される、まさにコストラクターズ日本一という戦いになった。予選序盤は日本自動車大学校から参戦しているベテランの金井選手がリード。そしてレース経験豊富な栗原選手がそれに続く。しかし栗原選手は3周目でエンジンを止めてしまいストップ。その結果13番手まで沈むことに。各車、周回を重ね路面状況が良くなるごとに少しずつタイムを上げていく。しかしトップ金井選手、2位高星選手、のオーダーは変わらない。私はグリップ感のないマシンに、試行錯誤し攻めたが7番手争いの先頭のタイムから上げられない。最終ラップに全セクター自己ベストを記録し、0.8秒のタイムアップをするも5番手に0.02秒、6番手に0.01秒競り負け、昨シーズンから考え過去ワースト結果の7番手タイムで終わった。

決勝・・・1位

Sunday

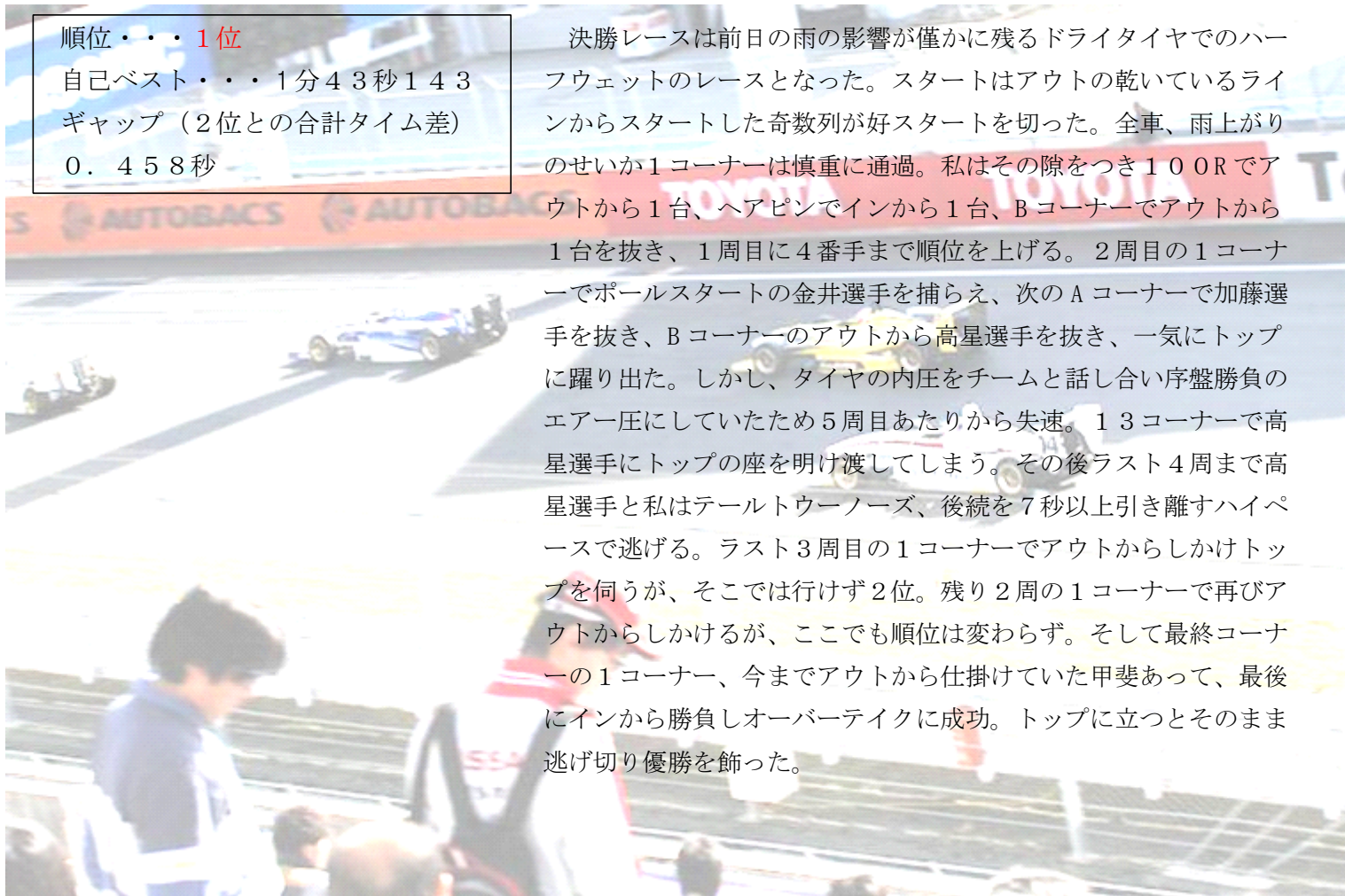
順位・・・1位

自己ベスト・・・1分43秒143

ギャップ（2位との合計タイム差）

0.458秒

決勝レースは前日の雨の影響が僅かに残るドライタイヤでのハーフウェットのレースとなった。スタートはアウトの乾いているラインからスタートした奇数列が好スタートを切った。全車、雨上がりのせいか1コーナーは慎重に通過。私はその隙をつき100Rでアウトから1台、ヘアピンでインから1台、Bコーナーでアウトから1台を抜き、1周目に4番手まで順位を上げる。2周目の1コーナーでポールスタートの金井選手を捕らえ、次のAコーナーで加藤選手を抜き、Bコーナーのアウトから高星選手を抜き、一気にトップに躍り出た。しかし、タイヤの内圧をチームと話し合い序盤勝負のエア圧にしていたため5周目あたりから失速。13コーナーで高星選手にトップの座を明け渡してしまう。その後ラスト4周まで高星選手と私はテールトゥノーズ、後続を7秒以上引き離すハイペースで逃げる。ラスト3周目の1コーナーでアウトからしかけトップを伺うが、そこでは行けず2位。残り2週の1コーナーで再びアウトからしかけるが、ここでも順位は変わらず。そして最終コーナーの1コーナー、今までアウトから仕掛けていた甲斐あって、最後にインから勝負しオーバーテイクに成功。トップに立つとそのまま逃げ切り優勝を飾った。



まとめ

予選では結果こそ7番手で悪かったものの、タイムの出し方はレインコンディションで水が一番はけてきて、タイヤにも熱が入っている最終ラップに全セクター自己ベストでタイムを出せた事は良かったです。しかし、全くと言って良いほどにグリップ感のないマシンに手こずってしまい、全くタイムが伸びませんでした。F4の予選中に他車に抜かれたのは初めての出来事で、少し慌ててしまったのも良くなかったです。そこで無理にタイムを出そうとコースオフをしてしまったりもしました。メンタル面の強化を徹底していきます。

決勝では、スタート前にチームと話していた作戦通りの走りが出来ました。序盤に高星選手が逃げる前にトップに出るという作戦です。序盤に内圧をかなり上げていったため、中盤につらくなりましたがストレート重視に仕上げてもらったマシンを活かしトップに着いていくことが出来ました。昔から1対1のバトルは強かったので、1コーナーでアウトからしかけ、最終ラップにインから仕掛けるのもシナリオ通りでした。私が2番手に落ちた周中の100Rがタービランスの影響で曲がりにくく差が広がったので、最終ラップの1コーナーで前にいる方が勝ちだとも考えてもいました。7番手スタートという厳しいレースでしたが、全てが上手くいき優勝できて本当に良かったです。

このレースは私のレース人生の集大成とも言えるレースでした。間違いなく私のフォーミュラレースで過去最高のレースを最高の舞台で披露できました。

今まで、私にご協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。

皆様のためにも、来年もレース活動を続け、F3という大きな舞台で活躍し、世界への扉を開いて見せますので、今後とも応援よろしくお願い致します。